

地域おこし協力隊 奮闘記 vol.26



今月は
高見道人が
書いています

親子3代で お世話になります

こんにちは。5月から地域おこし協力隊観光部門として着任した高見道人です。

私は妻と、昨年10月に生まれた息子の3人で、東京から大山町に移住しました。父の生まれが大山町(旧中山町)で、私自身は米子市出身です。高校まで米子で暮らしました。小さい頃から祖父母のところには足繁く通っていましたので、ここは縁もゆかりもない土地というわけではあ



りません。海も山もあり、昔から大山町に行くのがとても楽しみでした。

インターネットが

専門です

前職は、東京の会社で、インターネット関係の仕事をしてきました。1日何万もの人が利用する不動産を取り扱うホームページを運営している会社でした。まずは、ホームページを見るお客さま一人ひとりが、どのような情報に興味関心があるかを分析します。そして、それぞれのお客さまの興味・関心に応じて、どのような不動産の情報を届けるべきかを考え、情報発信をするという仕事でした。いわゆる「マーケティング」の分野です。

この経験はそのまま、大山町の観光事業にも役立てられるのではないかと思っています。インターネットを活用して、大山に興味関心を持つ人を、また実際に観光客として訪れる人を増やしていきたいです。

鳥取に帰ってきた

理由

特に前職の職場環境に不満があったわけではありませんが、むしろ、業界では先頭を走っている会社でしたし、若くて活気あるとても働きがいのある会社でした。それにもかかわらず「なぜ大手の会社を辞めて、給料を半減させてまで鳥取に帰ってきたの?」とよく質問されます。

うまく説明できないのですが、元々、鳥取の自然や食べ物などがとても好きで、観光という点でも大きな可能性があると思っていること、自分が今まで経験してきたインターネットの知識・経験をフ



ル活用すれば、今のタイミングなら故郷に大きく貢献できるのではないかと、という気持ちで日に日に高まってきて、行動を起こさずにはいられなくなつた、というのが私の正直な気持ちです。

息子も生まれたばかりの中、こんなわがままを許してくれた妻には頭が上がりません。妻の信頼を裏切らないためにも、しっかりと任期中に大きな成果を残したいと思います。

大山町の皆さん、どうぞよろしくお願ひします。

◆問い合わせ先

観光商工課

☎0859・53・3110